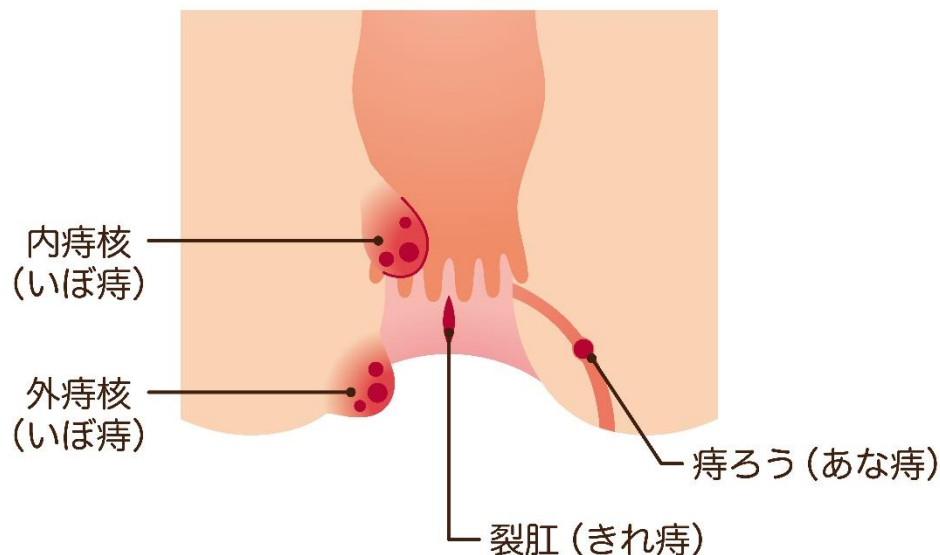


肛門疾患

肛門の病気をまとめて痔と呼び大変多い疾患です。
悩む前に病院を受診し正しい診断を受け治療しましょう。
代表的な3つの痔を紹介いたします。



・痔核 (いぼ痔)

肛門にしこりができる病気です。肛門の内側にできたものを内痔核、外側にできたものを外痔核といいます。

排便時などに内痔核が肛門から脱出してくることを脱肛といいます。

内痔核には重症度分類があります。

I度：脱肛はないが、排便時に出血することがある。

II度：排便時に脱肛するが自然にもどる。

III度：脱肛が指で押しこまないと戻らない。

IV度：脱肛し戻らない。

I度II度は排便習慣や生活習慣の改善と内服や外用で軽快することが多いですが、III度以上の内痔核は手術治療が必要となります。

・裂肛 (切れ痔)

便秘などで硬い便を強く力んで排便した場合などに肛門が裂けるように切れて出血と痛みが発生します。便秘の治療と外用で良くなることが多いですが、繰り返すと肛門潰瘍から肛門狭窄を来し手術が必要になることがあります。

・痔瘻 (あな痔)

直腸から肛門周囲の皮膚に向かってトンネルが形成され、慢性的に膿が排出されて下着が汚れます。自然に治ることは期待できず、癌化のリスクがあるため基本的に手術適応と成ります。

このほかにも直腸脱などの手術を経肛門的に行っています。

手術時間も短く（10～30分程度）手術侵襲（体へのダメージ）が低い手術ですが当施設では安全を期し患者様の不安がないように全例を入院で行っています。